

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	保育所等訪問支援事業所　そよかぜ			
○保護者評価実施期間	2024年11月1日 ～ 2024年12月2日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2024年8月21日 ～ 2024年8月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	17
○訪問先施設評価実施期間	2024年10月1日 ～ 2024年11月4日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	15	(回答数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの子どもの発達段階、障がいの特性に合わせた支援	子どもの育ちや発達を確認し、目標設定を行っています。目標を達成するための支援方法についてスモールステップの方法を考え無理なく目標が達成できるように支援を行っています。	子どもの育ちや発達に対する職員の専門性を高めることで、よりこどもの実情に合った目標設定や支援の方法が可能になると考えられます。
2	子どもの人格を尊重し、常に子どもと保護者の立場に立った支援	保護者からの申し出があればすぐに個別懇談を行い相談に応じています。保護者の意見をしっかり確認しながら保護者とともに解決できる方法を考えています。	子どもと保護者の気持ちに寄り添えるよう、普段から保護者が話しやすい環境作りを心掛け保護者との信頼関係を構築する。
3	他事業所との連携	近年他の事業所と並行して利用する利用児が増えてきました。保育所等訪問支援は児童発達支援事業所には実施することができないため、児童発達支援センターとしての取り組みとして実施しています。	聴覚障がいなど児童発達支援センターからの専門的な支援や情報共有が必要な事業所に対してどのような支援方法があるのか、事業所の状況や意見を聞きながら考えていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			